

中小企業診断士の養成、
中小企業の発展を通じ、
大阪経済の活性化を図る。

中小企業診断士 登録養成課程

第3期

大阪唯一
の
開講※

※大阪にメインキャンパスを
構える大学として



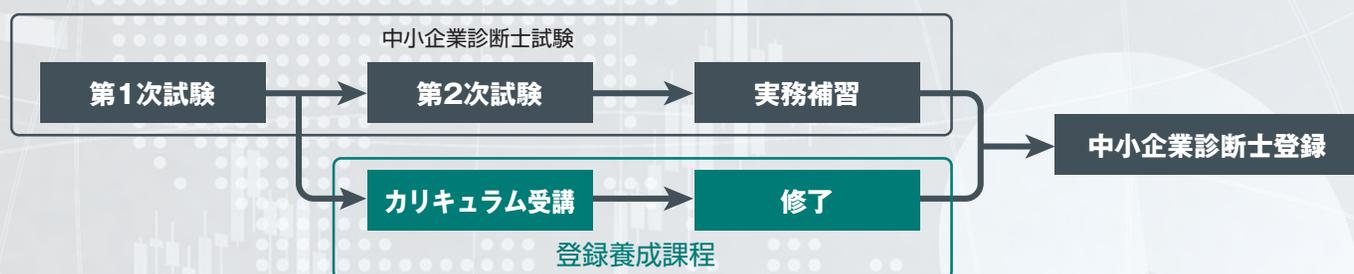
つながる力。
大阪経済大学
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

大阪で唯一の 中小企業診断士 登録養成機関

大阪経済大学では、大阪で唯一となる中小企業診断士登録養成機関を設置し、「仕事を続けながら学べる」1年制の登録養成課程を2019年2月から開講しています。これは、大学と中小企業診断協会とが連携した初の登録養成課程です。大阪の地域経済を活性化するには、中小企業の成長が喫緊の課題であり、その経営指導を行う中小企業診断士の育成が重要です。また、「働き方改革」の一環として促進が進む副業・兼業として、さらに「人生100年時代」における定年退職後のセカンドキャリアとして、さらに、コロナ禍の影響を受けている中小企業のパートナーとしてなど、中小企業診断士の価値は今後さらに高まることが予想されます。

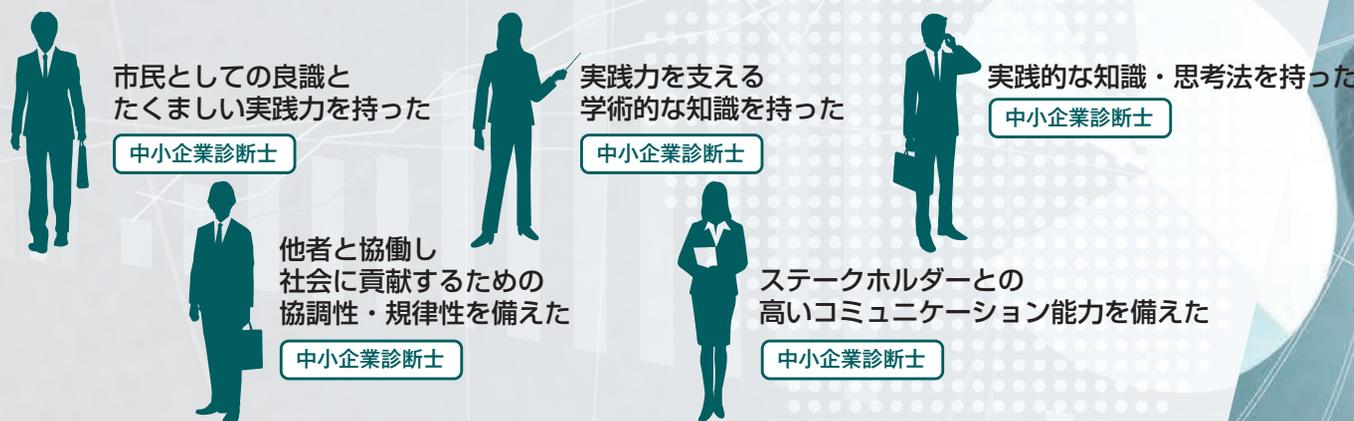
また、本学では中小企業・経営研究所を併設しています。この研究所における57年間の活動の蓄積を活用し、理論と実務の融合により優秀な中小企業診断士の養成を通じて、大阪ならびに関西経済の活性化を目指します。

中小企業診断士登録養成課程とは



中小企業診断士登録養成課程とは、中小企業診断士第1次試験合格者を対象に、企業のケースを用いた「演習」および実際の企業に訪問して診断を行う「実習」などのカリキュラムを通じて、以下の5つの資質を備えた中小企業診断士を養成するプログラムです。第2次試験および実務補習に代わるものとして、当課程を修了すると、中小企業診断士として登録することができます。

養成する中小企業診断士像



大阪経済大学 中小企業診断士登録養成課程の特徴

●中小企業研究を専門とする教員による学術的理論のサポート

中小企業が集積する大阪で、中小企業研究の分野において先進的に活動を続け、日本では数少ない中小企業に関する専門研究機関である中小企業・経営研究所を擁する大阪経済大学の専任教員が、中小企業経営に関する学びを理論面から徹底サポートいたします。

●大阪府中小企業診断協会との連携

本課程は大阪府中小企業診断協会の全面的な協力のもと行われます。演習科目の一部と実習科目の全ては当協会所属の企業診断の最前線で活躍する現役の中小企業診断士が担当することで、各診断士の強みを活かした実践的ですぐに使えるスキルと知識を提供いたします。

●仕事を続けながら通学可能

平日18:30～と土曜日中心のカリキュラムで、お仕事との両立が可能です。また、京阪本線・大阪メトロ堺筋線北浜駅直結の大阪経済大学北浜キャンパス(大阪証券取引所ビル3階)で開講いたします。アクセスの良いキャンパスでお仕事終わりの通学にも便利です。

1年間の流れ（第2期実施）

授業は「経営診断Ⅰ」と「経営診断Ⅱ」から構成されており、それぞれに演習と実習科目があります。

経営診断Ⅰ	演習（2月中旬～8月上旬）	・経営戦略・マーケティング・営業マネジメント・人材マネジメント ・財務・会計・情報化支援・助言能力 など
	実習（6月上旬～9月中旬）	・製造業経営診断実習 ・流通業経営診断実習
経営診断Ⅱ	演習（9月中旬～11月上旬）	・流通業総合・製造業総合・創業・ベンチャービジネスモデル構築支援 ・経営革新ビジネスモデル構築支援・事業承継 など
	実習（11月上旬～1月下旬）	・経営戦略策定実習Ⅰ・経営戦略策定実習Ⅱ ・経営総合ソリューション実習

開講日数	平日（月、水） 夜間70日・昼間13日【平日昼間の実施は実習時のみ】	土曜47日	日曜11日
------	------------------------------------	-------	-------

演習は、中小企業のケースに基づいて、講師と受講者間のディスカッションをメインとして行います。これを通じて中小企業経営に関する知識に加えて、中小企業診断士の重要なスキルの一つである**コミュニケーション能力**を養成します。

実習では、実際の中小企業に訪問し、経営者や従業員へのヒアリング、現場視察などの現状分析からスタートし、講師の助言のもと受講生間での議論を重ねることで問題点構造化、課題抽出、課題構造化、具体的解決策検討を行います。最終的に成果物として経営診断報告書を作成し、経営者に対するプレゼンテーションを実施します。合計5社に対する実習を通じて、中小企業の経営課題の解決に対する指導、支援、アドバイスができる**コンサルティングスキル**を養成します。また、実習の講師は**コンサルティングの最前線で活躍する大阪府中小企業診断協会に所属する中小企業診断士**が担当します。

実習は受診企業からも高い評価を得ています

第1期の実習で受診企業から頂いた評価では、15社中7社が最高評価、8社が上から2番目という高評価でした。受講生の熱心な取り組みと講師の指導により、実習は受診企業にとっても大いに価値あるものとなっています。

評価	評価社数
期待以上で、社内で勉強していきたい。かなり役立つ提案があるので順次実行してみたい。再度、受診したい。	7
実習企業診断は、期待以上。役立つ提案がみられるので実行してみたい。	8
実習企業診断は、概ね満足すべきもの。提案内容を今後勉強したい。	0
実習企業診断は、やや期待に反した内容である。しかし、調査結果など役立つものもある。	0
実習企業診断は、期待に反した内容である。	0

演習開講時の一般的な週間スケジュール

	9:00	18:30	21:30
Mon.	仕事		演習
Tue.	仕事		Free
Wed.	仕事		演習
Thu.	仕事		Free
Fri.	仕事		Free
Sat.	演習	17:45	Free
Sun.	Free（1週間の復習など）		

実習開講時の一般的な週間スケジュール

	9:00	18:30	21:30
Mon.	実習（企業訪問）		Free
Tue.	仕事		Free
Wed.	実習（企業訪問）		Free
Thu.	仕事		Free
Fri.	仕事		Free
Sat.	実習（北浜キャンパス）		Free
Sun.	実習（北浜キャンパス）		Free

演習、実習を担当する講師

大阪経済大学 専任教員8名（経済学部、経営学部、情報社会学部、人間科学部）
大阪経済大学 客員教授・非常勤講師9名（うち、6名は大阪府中小企業診断協会員）
大阪府中小企業診断協会員（中小企業診断士）15名
大阪産業経済リサーチ&デザインセンター 主任研究員1名

※上記所属・人数等は第2期の実績です。



◀講師、開講科目等の詳細はWebサイトをご覧ください

中小企業に関する専門研究機関が有する資源を活用します

大阪経済大学には1963年に創立した、日本では数少ない**中小企業に関する専門研究機関**である中小企業・経営研究所があります。我が国の主要都市の中でも中小企業の比重の高い大阪で、中小企業研究の分野を中心に先進的に活動を続け、国内外から高い評価を受けています。当研究所に蓄積された中小企業経営に関する知見および文献・資料は、登録養成課程の授業にも活用する予定です。



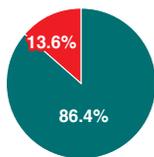
修了生から高い評価を得ています。

修了生(第1期)の声

(修了生アンケートより抜粋、修了生24名中回答者22名)

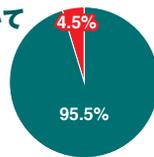
Q 登録養成課程で学んだことで、人生の選択肢が増えましたか？

- 大変そう思う
- そう思う



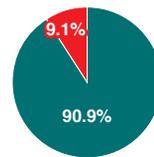
Q 登録養成課程に対する総合的な満足度について教えてください。

- 大変満足している
- やや満足している



Q 登録養成課程への入学を検討中の方に、本学を推薦していただけますでしょうか？

- 強く推奨したい
- やや推奨したい



Q 受講前と現在で、自分の中で何か変わったところがあれば教えてください。

- 同期の能力を目の当たりにして、人を認める能力が向上しました。
- 自信ができました。そして共に学習した仲間がたくさんできました。これは大きな進歩です。普通に生活していて、中小企業診断士を何十人も知っているなんてあり得ません。そして、その一員であることは自信となり、心が変わり、行動が変わりました。多分、お客様には受講前と同じことを言っていると思います。しかし、その言葉の重みは数倍、数十倍重くなっていると自覚しています。
- 講師陣の多くが現役バリバリ診断士の方であり、仕事の取り方・進め方や独立する前後の時間の過ごし方が具体的に聞けて、腹を決めて独立できました。

Q これから、受講を検討されている方へメッセージをお願いします。

- 協会の理事を含め錚々たる方が講師をされており、2次試験合格者から羨ましがられるほど恵まれた環境が用意されています。また同期の学友は自分にはない多様な経歴を持っています。それらを存分に享受することで診断士1年生とは思えないスタートダッシュを決めることができます。投入する時間とお金以上のものが得られますので、受講を強くお勧めいたします。
- この課程は大学教員から探求された論理を学び、中小企業診断士から培われた生の実務を学び、実習で経営者と対峙し実践を学ぶことができます。コンサル業は論理と実務の知識を駆使し実践することです。この課程では、2次試験・実務補習ではできない、内容の濃い実践の経験が出来ます。みなさまの学習の目的は資格を取ることで終わりではありません。その先のコンサル業、すなわち、お客様への支援を実践することです。そのためには、この課程をお勧めします。
- コロナ禍を経て、特に中小企業はこれまでの考え方や経営の仕組み自体を大きく変革していく岐路に差し掛かっていると思います。そういった状況のなか、中小企業診断士はこれまで以上に求められる存在になってくるといえます。この課程では、知識だけでなく、中小企業経営者に寄り添い・伴走していくために診断士としてどういう思い・視点を持つべきかを演習・実習を通して身につけていくことができます。また1年間同じ環境で過ごし、同じ課題に取り組むことで学校や会社とは違った「仲間」を得ることができます。資格取得の先を見据えた場合、この課程を受講して後悔することはないと思います。

第3期概要

*応募に関する詳細は募集要項をご覧ください。 *スケジュール等は変更になる場合があります。

開講期間

2021年2月20日(土)～2022年2月12日(土)

開講日

月曜・水曜(18:30～21:30) / 土曜(9:00～17:45)

*実習は平日昼間、日曜にも開講いたします。新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン授業となった場合、平日の開講時間は19:30～22:30となります。

開講場所

大阪経済大学 北浜キャンパス 〒541-0041 大阪市中央区北浜 1-8-16 (大阪証券取引所ビル 3階) (大阪メトロ堺筋線・京阪本線 北浜駅直結)

定員

18名 ※場合によっては24名まで増加する場合があります。

選考スケジュール

応募受付期間 2020年11月2日(月)～12月14日(月)必着
書類審査通過者発表 2020年12月17日(木) (面接審査に進む方をウェブサイトで発表します。)
面接審査実施日 2020年12月19日(土)
合格発表 2020年12月23日(水) 10:00

説明会は10月末～11月に開催予定です。詳細はWebサイトをご確認ください。

受講資格

- (1) 中小企業診断士第1次試験(以下、「第1次試験」という。)合格者のうち以下の者
 - ①2020年度、2019年度および2018年度の第1次試験合格者
 - ②2000年度以前の合格者(2001年度以降に第2次試験を受験した者および2006年度以降に養成課程または登録養成課程を受講した者を除く)
- (2) 高等学校を卒業した者、もしくは大学入学資格を有する者
- (3) 心身ともに健全で1年間の研修を受講し得ると判断できる者
- (4) パソコン操作の基礎知識(文書作成・表計算・プレゼンテーションの各ソフトを使いデータの並べ替え・グラフ化等の基本操作が行える。またインターネットを経由したコミュニケーションソフトの操作経験)を有し、開講時にノートパソコンを持参できる者
- (5) 本登録養成課程修了後は中小企業診断士の知識・経験・スキルを中小企業の経営支援や地域経済の発展に積極的に役立てたい者・中小企業診断士の資格取得自体が目的ではない者

受講費用

入学金203,700円、受講料1,833,300円
(上記金額は第2期実績ですが、第3期より消費税分を減額する予定です。詳細はWebサイトをご確認ください。)

注意事項

新型コロナウイルス感染症の状況次第では、インターネットを使用したオンライン授業を実施します。そのため講師や同期生との交流の機会が減ったり、大学施設(図書館、自習室等)が利用できない場合があることを予めご了承のうえ、ご応募下さい。また、教室内での受講生同士の距離を確保する目的で、土曜日は大隈キャンパスの大教室で授業を実施する可能性もございます。

お問い合わせ先

大阪経済大学 図書館・研究所事務課 中小企業診断士登録養成課程 担当
TEL.06-6328-2431(代) ※平日9:00～17:00 E-Mail.yousei@osaka-ue.ac.jp



HPIはこちらから